

令和4年度

教育に関する事務の点検・評価報告書

(令和3年度実施事業)

令和4年9月

笛吹市教育委員会

笛吹市教育委員会事務事業の点検・評価に対する概要

1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に「教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされています。

この法律を受け、笛吹市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2 点検・評価の実施方法

令和 3 年度に教育委員会が実施した 110 の事務事業のうち、第二次笛吹市総合計画令和 3 年度実施計画に掲載されている 35 の事務事業（教育総務課 9 事業、学校教育課 9 事業、生涯学習課 8 事業、文化財課 8 事業、図書館 1 事業）を選定し、事業目的、実施内容、評価及び課題の各項目について、主要事業概要として点検・評価を行いました。

令和 4 年 9 月

笛吹市教育委員会

目 次

笛吹市教育委員会事務事業の点検・評価に対する概要

第1章 教育委員会の活動状況 1

第2章 事務局各課

第1節 教育総務課 3

第2節 学校教育課 10

第3節 生涯学習課 17

第4節 文化財課 24

第5節 図書館 31

資料 事務事業一覧表 33

第1章 教育委員会の活動状況

1 組織体制 (令和3年4月1日)

教育委員	教育長1人、職務代理者1人、委員4人
事務局職員	教育部長1人 課長級以下職員(4課1館)正規職員49人 再任用職員7人、会計年度任用職員236人(フルタイム40人、パートタイム196人)

2 活動概要

(1) 教育委員会の会議

毎月1回の定例会及び6回の臨時会を開催しました。

定例・臨時		協議件数	報告件数	その他
定例会	12回	33件	16件	0件
臨時会	6回	6件	1件	0件

(2) 教育長、教育委員の主な視察研修等

教育行政に関する情報収集や意見交換により、教育上の諸課題の解決に向けた委員の相互理解を深めるため、視察研修会等に参加しました。

事業名	期日	場所	内容
関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会研修会	令和3年5月	千葉県市原市 市原市市民会館	総会は書面議決、研修会は中止
峡東地区教育委員会連合会定期総会	令和3年6月	甲州市 甲州市役所	総会
山梨県市町村教育委員会連合会秋季研修会	令和3年11月	甲州市 甲州市民文化会館	動画配信にて実施
峡東地区教育委員会連合会研修会	令和3年11月	山梨市 山梨市役所 根津記念館	研修
山梨県市町村教育委員会連合会春季研修会	令和4年3月	甲州市 甲州市民文化会館	総会は書面議決、研修は動画配信にて実施

(3) 教育長、教育委員の主な活動

対象内容	回・学校数	内容	備考
学校訪問	1回 19校	学校毎に、授業参観、校舎等施設の視察、教職員との意見交換等を実施	
入学式・卒業式	1回 19校	式典に参加	新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して挙行。入学式、卒業式参加。
運動会・学園祭	1回 19校	式典に参加	新型コロナウイルス感染拡大防止のため不参加。
各種会議等		県連・峡東地区連会議に出席、総合教育会議、市主催会議・行事に参加	

3 点検・評価

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、笛吹市教育委員会においては、平成30年4月より教育委員長と教育長を一本化した新教育長制度へ移行しました。このことにより、教育行政における責任体制の明確化、委員会審議の活性化及び迅速な危機管理体制の構築など、本市教育委員会のさらなる効果的な運営に努めています。

教育委員会の会議については、毎月1回の定例会及び必要に応じて臨時会を行うこととなっており、令和3年度においては、2活動概要(1)のとおり開催しました。原則的に会議は公開とし、議事録は、市のホームページで公表しています。

また、令和3年度に開催された総合教育会議では、学校施設の現状と今後の課題やGIGAスクール構想に係るICT環境整備と端末利活用状況などについて市長に現況を報告し、これからの対応等について意見交換を行いました。

総合教育会議により市長と教育委員会が相互の連携を図り、教育の諸課題や目指す姿等を共有しながら両者が同じ方向性のもと教育行政を推進します。

第2章 事務局各課

第1節 教育総務課

1 組織、分掌事務及び職員

係・担当	分掌事務	職員数(人)
課長	教育総務課所管事務の統括	1
総務担当	教育委員会、人事、予算関係、施設等利用給付事業、栄典等	2
施設担当	学校、社会教育、社会体育、その他教育施設設備の営繕等	4
計	正規7人	7

2 担当課実施事業 事務事業 22事業

教育総務課は、教育委員会事務局の統括課として教育委員会の庶務を担当し、各課との連絡調整を図りながら教育委員会全体の適正な事務の執行に努めています。総務担当・施設担当の2担当からなり、総務担当は、教育委員会の管理的な事務をはじめ事務事業9事業を実施し、事務局全体が円滑に運営できるよう努めています。施設担当は、学校施設・社会教育施設・体育施設・給食調理施設など施設設備の整備に関する13事務事業を実施し、合計22事務事業を実施しました。

主要事業概要（点検・評価対象事業 9事業）

(1) 教育交流事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）140千円（支出済額）0円（執行率）0%

【事業目的】

中国天津市和平区教育局と教育、体育、文化等の分野で相互協定に基づき交流を行う。

【実施内容】

教育交流の受け入れ、訪問に関する事務。

【評価】

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和3年度の事業は中止とした。

(2) 学校プール民間活用モデル事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）5,739千円（支出済額）4,385千円（執行率）76.4%

（財源内訳）基金4,385千円

【事業目的】

老朽化が進む小中学校のプールの対応策として、民間プールを活用した水泳事業について検証するためモデル事業を実施する。

【実施内容】

今年度モデル事業として「ブルーアース石和店」を活用し、プール授業を実施していくことができるか検証する。

【評価】

石和南小学校・石和東小学校・石和北小学校の3校を対象に民間プールでの授業を実施できた。

石和南小学校	208人	6クラス
石和東小学校	151人	6クラス
石和北小学校	154人	6クラス

【歳入】

①基金繰入金（まちづくり基金）4,385千円

【歳出】

①委託料 4,385千円

・学校プール民間活用モデル事業	3,889千円
・プール民間活用他業務委託	496千円

【課題】

モデル事業により民間プールの活用が可能であることが確認できた。今後、個別施設計画を基準に、他の学校への導入を検討していく。

(3) 学校トイレ洋式化検討事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）3,168千円（支出済額）2,750千円（執行率）86.8%

（財源内訳）基金2,750千円

【事業目的】

学校施設におけるトイレの洋式化を進めていく手法として、リース方式を採用して一括更新をするための調査業務を実施する。

【実施内容】

トイレの洋式化リース事業に伴う現場調査を実施し、発注仕様書の作成、設備数や改修方法の取りまとめを実施。

【評価】

小学校12校、中学校3校 合計15校のトイレ調査、仕様書の作成

【歳入】

①基金繰入金（まちづくり基金）2,750千円

【歳出】

①委託料 2,750千円

・学校トイレ洋式化リース方式プロポーザル調査業務 2,750千円

【課題】

令和4年度にプロポーザル審査会にて受託業者を決定する。

(4) 小学校施設計画的改修事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 62,684 千円 (支出済額) 57,864 千円 (執行率) 92.3%

(財源内訳) 地方債 24,000 千円、基金 777 千円、一般 33,087 千円

【事業目的】

小学校施設の計画的改修工事により、安全・安心な教育環境整備を図る。

【実施内容】

一宮北小学校は、老朽化により雨漏りが多発しており、教室床の劣化が著しいため防水工事及び床塗装を実施。一宮西小学校屋内運動場は、LED 照明の改修、バスケットゴールの耐震化を実施。その他、下記の工事等を実施。

【評価】

一宮北小学校は、改修工事により雨漏りが改善された。一宮西小学校屋内運動場は、LED 照明、バスケットゴールの耐震化を実施し、地震時による落下防止等改善された。その他、学校から上げられている問題点や不具合の施設について改善することができた。

【歳入】

①地方債 (学校教育施設等整備事業債) 24,000 千円

②基金 (公共施設整備等基金繰入金) 777 千円

【歳出】

①委託料 14,654 千円

・石和南小学校屋内運動場改修工事設計業務委託 2,596 千円・一宮西小学校校舎改修工事設計業務委託 4,089 千円・石和北小学校校舎改修工事設計業務委託 6,062 千円・その他小学校施設改修設計業務委託 1,907 千円

②工事請負費 43,210 千円

・石和南小玄関サッシ改修工事 2,725 千円・一宮北小学校校舎改修工事 11,435 千円・一宮西小学校屋内運動場非構造部材等改修工事 11,550 千円・小学校受変電設備改修工事 2,802 千円・その他小学校施設改修工事等 14,698 千円

【課題】

全体的に施設の老朽化が進んでいるため、優先順位を付けて計画的に取り組む必要がある。

(5) 浅川中学校校舎等改修事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 748,862 千円 (支出済額) 648,761 千円 (執行率) 86.6%

(財源内訳) 国庫補助金 147,773 千円、地方債 419,800 千円、基金 81,188 千円

【事業目的】

浅川中学校校舎及び関連施設は、老朽化が著しいため校舎を長寿命化し安心安全で適正な学校教育環境を確保する。

【実施内容】

校舎を長寿命化改修し、部室棟は改築、体育館にトイレを新設する。仮設校舎を設置し、既設校舎からの移転を実施する。

【評価】

校舎の長寿命化改修工事を発注し、現在改修中。また、部室棟改築、体育館トイレ改修工事を実施した。既設校舎の改修を行うため仮設校舎を設置した。

【歳入】

- ①国庫補助金（学校施設環境改善交付金）147,773千円
- ②地方債（学校教育施設等整備事業債）56,700千円
（防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債）363,100千円
- ③基金（公共施設整備等基金繰入金）81,188千円

【歳出】

- ①需用費（消耗品費）483千円
- ②役務費（手数料）1,005千円
・長寿命化改修工事建築確認申請他
- ③委託料 14,708千円
・長寿命化改修工事設計業務委託（債務）2,937千円・長寿命化改修工事監理業務委託（債務）3,150千円・その他設計調査委託業務418千円・備品等移転費用・廃棄物処分業務 8,203千円
- ④使用料及び賃借料 182,901千円
・浅川中学校仮設校舎賃貸借（債務）
- ⑤工事請負費 449,663千円
・浅川中学校部室棟改築他改修工事 109,129千円・浅川中学校技術科棟屋根断熱塗装工事 1,298千円・浅川中学校校舎長寿命化改修工事（建築）（債務）219,400千円・浅川中学校校舎長寿命化改修工事（電気設備）（債務）34,260千円・浅川中学校校舎長寿命化改修工事（機械設備）（債務）82,150千円・浅川中学校校舎長寿命化改修工事他工事 3,426千円

※予算のうち手数料 589千円、工事関係委託料 15,492千円、
使用料及び賃借料 16,614千円
工事請負費 62,606千円は令和4年度へ繰越明許

【課題】

浅川中学校の長寿命化改修については、既存校舎等を最大限に有効活用できるよう進める必要がある。

(6) 社会教育施設計画的改修事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）3,223千円（支出済額）3,223千円（執行率）100.0%

(財源内訳) 基金 3,223 千円

【事業目的】

老朽化が著しい社会教育施設について、安心安全な施設環境を確保するために施設を計画的に改修する。

【実施内容】

芦川グリーンロッジでは、老朽化が進行しており水回りの不具合や客室自体の改修が必要になっていることから現在の施設の耐震診断調査を実施する。

【評価】

新館は平成2年の建築のため、新耐震基準で建築されている。旧館は築40年以上経過し、昭和56年の新耐震基準前の建築のため耐震性が確保されているか耐震診断を実施した。今後、建物を改修し、耐震化を図るか検討することとなった。

【歳入】

①基金(芦川地区過疎地域活性化基金繰入金(2号)) 3,223 千円

【歳出】

①委託料 3,223 千円

・芦川グリーンロッジ旧館耐震診断業務委託 2,728 千円・改修計画調査業務 495 千円

【課題】

芦川グリーンロッジを含め、老朽化により不具合が生じている施設が増えているため計画的な改修を進めていく必要がある。

(7) 体育施設計画的改修事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 16,599 千円 (支出済額) 14,639 千円 (執行率) 88.2%

(財源内訳) 地方債 10,000 千円、基金 4,199 千円、一般 440 千円

【事業目的】

老朽化が著しい社会体育施設について、安心安全な施設環境を確保するために施設を計画的に改修する。

【実施内容】

御坂体育館の駐車場を再舗装する。

【評価】

御坂体育館の駐車場を再舗装することによって施設利用者に対して安全確保と利便性の向上が図れた。

【歳入】

①地方債(一般事業債) 10,000 千円

②基金(公共施設整備等基金繰入金) 4,199 千円

【歳出】

①委託料 583 千円

・御坂体育館駐車場改修工事設計業務委託

②工事請負費 14,056 千円

・御坂体育館駐車場改修工事 12,760 千円・その他施設工事 1,296 千円

【課題】

老朽化により不具合を生じている施設が増えているため、計画的な改修を進めていく必要がある。

(8) 小学校施設計画的改修事業(繰越事業)

【予算・決算額等】

(事業予算額) 15,730 千円 (支出済額) 11,339 千円 (執行率) 72.1%

(財源内訳) 国庫補助金 3,466 千円、地方債 4,500 千円、一般 3,373 千円

【事業目的】

小学校施設の計画的改修工事により、安全・安心な教育環境整備を図る。

【実施内容】

八代小学校特別教室(音楽室・理科室)への空調設備を設置する。

【評価】

特別教室への空調設置により、快適な学習環境が整えられた。

【歳入】

①国庫(学校施設環境改善交付金) 3,466 千円

②地方債(防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債) 4,500 千円

【歳出】

①工事請負費 11,339 千円

・八代小学校特別教室空調設備設置工事(明許)

【課題】

特別教室への空調設置を順次進めているが、すべての教室への設置には多額の費用を要する状況となっている。

(9) 浅川中学校校舎改修等改修事業(繰越事業)

【予算・決算額等】

(事業予算額) 53,209 千円 (支出済額) 39,178 千円 (執行率) 73.6%

(財源内訳) 地方債 29,300 千円、一般 9,878 千円

【事業目的】

浅川中学校校舎及び関連施設は老朽化が著しいため、校舎を長寿命化し安心安全で適正な学校教育環境を確保する。

【実施内容】

浅川中学校校舎長寿命化改修工事を進めていくための実施設計を行った。

【評価】

長寿命化改修工事の設計が完了し、計画どおり工事発注が実施できた。

【歳出】

①委託料 39,178 千円

・浅川中学校長寿命化改修工事設計業務委託（債務）

【課題】

令和5年1月の完成を目指して取り組んでいる。

3 総括

総務担当は、教育委員会の事務局として教育委員の各種活動や教育委員会会議が円滑に行えるよう、各課及び関係機関との連携を密にし、業務の適正な執行を図っています。

施設担当では、老朽化が顕著である小中学校施設等の今後の改修方針を検討するため、「笛吹市学校施設長寿命化計画」が策定されています。本計画や上位計画である「笛吹市公共施設等総合管理計画」を踏まえ、学校施設の大規模改修や建替えを含めた維持管理等に係るトータルコストの縮減と予算の平準化を図っています。また、社会教育・体育施設も含め計画的な改修事業の推進により、適正な教育環境の整備に努めています。

第2節 学校教育課

1 組織、分掌事務及び職員

係・担当	分掌事務	職員数(人)
課長	学校教育課所管事務の統括	1
学務担当	学校予算、就学援助、ALT、学校医、特別支援、学校安全、就学時健康診断、就学事務、スクールバス運営、日本スポーツ振興センター保険、市交付学校補助金関係、学生ボランティア、運動部活動指導員任用、ICTの整備など	6(3)
指導主事	学校教育ビジョンの具現化、教職員人事、生徒指導上の問題、就学指導及び相談、教師の授業力向上支援、校内研究指導助言	2
市費負担講師 学校サポーター 学力向上スタッフ ALT 部活動指導員 学校生活サポート 学力向上スタッフ追加 スクールサポートスタッフ	児童・生徒の学習指導や補助、特別な支援を要する児童・生徒への支援、教員の授業支援、部活動支援、肢体不自由児童のサポート支援、教職員業務のサポート	(109)
学校図書館司書	小中学校図書館の運営、教育指導への支援	2(16)
用務員	教育環境の整備、その他の用務	(18)
学校安全サポーター	学校における生徒指導体制の充実、学校巡回、警察との連携	(2)
メール便	メール便の運行	(1)
スクールバス	スクールバス運行(御坂・八代・境川・芦川地区)	1(2)
ふえふき 教育相談室	教育相談、就学相談や支援、特別支援や発達障害等支援、不登校や生徒指導の支援など	(4)
学校給食担当	学校給食事務・予算、調理場運営、共同調理場給食費管理	2(3)
市費負担栄養士	献立作成、食材発注、調理指導、食育指導	(6)
学校給食共同調理場	給食調理、食材の発注、給食費の徴収(各校)	4(17)
学校給食単独調理場	給食調理、食材の発注・支払、給食費の徴収(各校)	3(12)
計	正規21人、再任用3人、会計年度任用職員190人 ()は再任用・会計年度任用職員	21(193)

2 担当課実施事業 事務事業 32 事業

学校教育課は、市内小中学校 19 校の運営や学校給食施設の運営管理に努めています。学務担当と学校給食担当との 2 担当からなり、学務担当は、小中学校の学校教育事業、教育相談、児童・生徒の就学支援・指導、保健・安全に関する学校全般の事務執行 26 事業を実施しました。学校給食担当は、5 つの共同調理場と 3 校の自校方式調理場の運営と維持管理を行い、安全で安心できる給食の安定供給、給食費の公会計化など給食全般の事務執行 6 事業を実施、合計 32 事務事業を実施しました。

主要事業概要（点検・評価対象事業 9 事業）

(1) 教育相談事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）10,167 千円（支出済額）8,709 千円（執行率）85.7%

（財源内訳）一般 8,709 千円

【事業目的】

教育相談室長、教育相談員、自立支援指導員、さらには指導主事が、就学に向けた支援や児童生徒の悩み、不登校、問題行動等の幅広い相談に応じる。

【実施内容】

電話や来室の相談以外にも、保育所・幼稚園等、小中学校・特別支援学校、児童発達支援センター等と連携し、適切な就学や諸課題の早期解決に向けた支援を行っている。

【評価】

特別支援学校への入学や特別支援学級への入級を含め、障がいをもつ児童生徒のスムーズな就学への支援ができた。また、不登校や特性からくる不適応、家庭内の問題等に対して、保護者や学校への的確な指導・支援、そして関係機関との連携ができた。（電話及び来室相談 1,549 件）

【歳出】

①報酬 7,127 千円 ②職員手当等 1,331 千円 ③報償費 22 千円 ④旅費 99 千円

⑤需用費 130 千円

【課題】

特別支援教育の相談件数が増え、子供や保護者が抱える困難な課題も多くなっていることから、よりきめ細かな対応が必要となり、今後相談員の増員が必要となってくる。

(2) 小中学校 ICT 環境維持整備事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）85,278 千円（支出済額）81,594 千円（執行率）95.7%

（財源内訳）一般 81,594 千円

【事業目的】

ICT を活用した授業の充実を図るため、市内小中学校 19 校を対象として、大型提示装置やタブレットパソコン、ネットワーク環境等の維持管理を行う。

【実施内容】

教師用タブレットやシンクライアント端末等の修理、小中学校セキュリティ保守業務委託、Web アクセス制御ソフトウェア、サーバー・ストレージ及びネットワーク機器保守ライセンス更新等を行う。

【評価】

デジタル教科書や教師が作成した資料を、教師用タブレットパソコンから大型提示装置に表示するなど、ネットワーク環境等の維持を図ることで ICT を活用した授業を推進することができた。

【歳出】

- ①需用費 2,572 千円 ②役務費 434 千円 ③委託料 26,692 千円
- ④使用料及び賃借料 43,495 千円 ⑤備品購入費 7,776 千円
- ⑥負担金、補助及び交付金 625 千円

【課題】

大型提示装置、教師用タブレットパソコン、デジタル教科書を使用した授業が定着しているが、今後デジタル教材や一人一台タブレットパソコンを効果的に活用するために、教師の ICT 活用能力の向上が必要である。

また、機器の耐用年数が経過したときは入替えが必要となり、多額の経費が必要となってくる。

(3) 外国語指導助手設置事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 49,978 千円 (支出済額) 44,556 千円 (執行率) 89.2%

(財源内訳) 一般 44,556 千円

【事業目的】

英語教育の充実と外国との相互理解を増進するとともに、国際化を促進する。

【実施内容】

JET プログラムによる招致外国青年 4 人、民間会社から 6 人外国語指導助手 (ALT) を派遣し、小中学校 19 校の授業の支援を行う。

【評価】

ALT を 4 人増員し、英語教育の充実を図ることができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、JET プログラムの ALT1 名が 8 月に任期満了で帰国し、その後来日予定の新規 ALT が来日できなかったが、空白期間を補うため、民間会社から 1 名の ALT を派遣して教育環境を整えた。

【歳出】

- ①報酬 13,616 千円 ②需用費 50 千円 ③役務費 74 千円 ④委託料 29,553 千円
- ⑤使用料及び賃借料 51 千円 ⑥負担金、補助及び交付金 1,212 千円

【課題】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、JET プログラムの ALT が来日できない状況が

続いている。教育環境に空白期間を空けてはならないため、民間会社からの ALT 派遣に移行していくことを検討する必要がある。

(4) 小学校学校教育事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 140,105 千円 (支出済額) 134,531 千円 (執行率) 96.0%

(財源内訳) 一般 134,531 千円

【事業目的】

小学校児童の学力向上及び授業支援並びに特別支援学級の支援及び学校運営のための支援を行う。

【実施内容】

市費負担の講師、学校サポーター、司書、用務員を配置し、小学校全般に係る教育活動の充実を図る。

【評価】

教育活動全体の円滑な運営に加えて、ティームティーチング指導や支援が必要な子供達へのきめ細かな対応等、教育活動の充実を図ることができた。

【歳出】

①報酬 38,802 千円 ②給料 60,834 千円 ③職員手当等 21,746 千円

④共済費 11,037 千円 ⑤報償費 615 千円 ⑥旅費 1,114 千円 ⑦需用費 133 千円

⑧委託料 250 千円

【課題】

教育課題が複雑化・多様化し、教職等への志願者が減少傾向にある中、豊かな知識や識見はもとより、幅広い視野を持ち個性豊かな人材を確保することが課題である。

(5) 小学校要保護及び準要保護児童援助事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 44,122 千円 (支出済額) 26,214 千円 (執行率) 59.4%

(財源内訳) 国庫 45 千円 一般 26,169 千円

【事業目的】

経済的な理由により就学困難と認められる(認定基準を満たす)児童の保護者に対し支援を行う。

【実施内容】

新入学学用品費(小1年)、学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費等を基準額により支給する。

【評価】

経済的理由により、就学困難となる児童の教育機会の格差解消を図り、義務教育の円滑な実施を図ることができた。認定者数 312 人 支給額 24,733 千円

新入学学用品(入学前支給) 認定者数 29 人 支給額 1,481 千円

【歳入】

国庫補助金 45 千円（要保護児童援助費補助金）

【歳出】

①扶助費 26,214 千円

【課題】

経済的理由により子どもを学校へ通わせることが困難な保護者は多く、支給する上で各学校を経て申請手続きを行っている。最終的に基準を満たしているかどうかの確認作業は担当が手作業で行うこととなり、担当者の事務量は膨大な状況にある。ICT を活用した事務の効率化を図る必要がある。

(6) 中学校学校教育事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）48,708 千円（支出済額）43,705 千円（執行率）89.7%

（財源内訳）一般 43,705 千円

【事業目的】

中学校生徒の学力向上及び授業支援並びに特別支援学級の支援及び学校運営のための支援を行う。

【実施内容】

市費負担の講師、司書、用務員を配置し、中学校全般に係る教育活動の充実を図る。

【評価】

教育活動全体の円滑な運営に加えて、ティームティーチング指導や支援が必要な子供達へのきめ細かな対応等、教育活動の充実を図ることができた。

【歳出】

①報酬 5,850 千円 ②給料 21,075 千円 ③職員手当等 5,310 千円

④共済費 2,698 千円 ⑤報償費 140 千円 ⑥旅費 229 千円

⑦使用料及び賃借料 4,478 千円 ⑧負担金、補助金及び交付金 3,925 千円

【課題】

教育課題が複雑化・多様化し、教職等への志願者が減少傾向にある中、豊かな知識や識見はもとより、幅広い視野を持ち個性豊かな人材を確保することが課題である。

(7) 中学校要保護及び準要保護生徒援助事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）39,459 千円（支出済額）23,586 千円（執行率）59.8%

（財源内訳）一般 23,586 千円

【事業目的】

経済的な理由により就学困難と認められる（認定基準を満たす）生徒の保護者に対し支援を行う。

【実施内容】

新入学学用品費（中1年）、学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費等を基準額により支給する。

【評価】

経済的理由により、就学困難となる生徒の教育機会の格差解消を図り、義務教育の円滑な実施を図ることができた。認定者数 215人 支給額 19,446千円

新入学学用品（入学前支給）認定者数 69人 支給額 4,140千円

【歳出】

①扶助費 23,586千円

【課題】

経済的理由により子どもを学校へ通わせることが困難な保護者は多く、支給する上で各学校を経て申請手続きを行っている。最終的に基準を満たしているかどうかの確認作業は担当が手作業で行うこととなり、担当者の事務量は膨大な状況にある。ICTを活用した事務の効率化を図る必要がある。

(8) 小中学校給食運営事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）10,370千円（支出済額）9,451千円（執行率）91.1%

（財源内訳）一般9,451千円

【事業目的】

単独調理場3箇所（石和中、境川小、芦川小）の安全・安心でおいしい給食の提供を行う。

【実施内容】

自校方式3校 境川小・芦川小・石和中学校調理場の給食運営（消耗品・燃料費・通信費）及び機器の維持管理（修繕料・委託料・使用料）にかかる経費。

【評価】

機器類の経年劣化がみられるものの、保守点検等により、安全・安心でおいしい給食の提供ができた。

【歳出】

①需用費 5,057千円 ②役務費 69千円 ③委託料 4,031千円

④使用料及び賃借料 213千円 ⑤備品購入費 81千円

【課題】

ハローワーク等で新規の調理員を募集しても応募者は少なく、慢性的な欠員状態が続いている。境川小・芦川小については、施設設備の老朽化が進んでいるが、建替えには今以上の建設用地を必要とすることから、他給食センターとの統廃合も含め、今後検討していく必要がある。

(9) 共同調理場運営事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 93,501 千円 (支出済額) 90,936 千円 (執行率) 97.3%

(財源内訳) 一般 90,936 千円

【事業目的】

共同調理場 5 箇所(御坂、八代、春日居、一宮、石和)の安全・安心でおいしい給食の提供を行う。

【実施内容】

センター方式 5 調理場(御坂・八代・春日居・一宮・石和)の給食運営(消耗品・光熱水費・燃料費・通信費)及び機器の維持管理(修繕料・委託料・使用料)にかかる経費。

【評価】

調理員の人材確保や、機器類の保守点検等により、安全・安心でおいしい給食の提供ができた。

【歳出】

①旅費 298 千円 ②需用費 38,562 千円 ③役務費 1,940 千円 ④委託料 41,937 千円

⑤使用料及び賃借料 982 千円 ⑥備品購入費 7,007 千円 ⑦公課費 210 千円

【課題】

ハローワーク等で新規の調理員を募集しても応募者は少なく、慢性的な欠員状態が続いている。また、調理員の高齢化が進んでおり、若手調理員への調理技術の伝達等が必要であり、職場内研修の充実も図っていかねばならない。

御坂学校給食共同調理場・八代学校給食センターについては、機器類の経年劣化とともに、施設の老朽化が進んでいる。学校施設長寿命化計画に基づき、施設・設備の更新・修繕を検討していく必要がある。

3 総括

予測困難な時代において、子供達が社会的変化を乗り越えながら豊かな人生を切り拓いていけるよう、新学習指導要領の確実な実施と「笛吹市学校教育ビジョン」の具現化を図り、知・徳・体を一体的に育てています。また、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、感染症対策や学習機会の保障、子どもたちの心のケアなど十分な対応を図っています。

学務担当は、教育委員会と学校とが目指す子供像と教育施策の目的を共有し、子供や教職員が力を発揮できるように教育環境の人的・物的整備に努めています。

学校給食担当は、5つの共同調理場と3校の自校方式調理場の適切な運営と維持管理に努め、衛生管理や食物アレルギーに適切に対応しながら安全でおいしい給食を提供するとともに、食育をとおして子供達の心身の健康増進を図っています。

第3節 生涯学習課

1 組織、分掌事務及び職員

係・担当	分掌事務	職員数(人)
課長	生涯学習課所管事務の統括	1
生涯学習担当	社会教育総務、社会教育委員の会議及び公民館運営審議会、文化振興、小・中学生俳句会、文化団体補助、市民講座、指定管理業務委託、青少年団体育成、成人式、青少年体験活動、放課後子ども教室 他	3
生涯学習コーディネーター(会計年度任用職員)	市民講座の企画運営、地区コミュニティ活動の指導助言、高齢者の学習活動における指導助言 他	(3)
青少年育成コーディネーター(会計年度任用職員)	青少年育成協議会活動等への指導助言、青少年体験活動の推進、家庭教育に対する支援 他	(2)
スポーツ推進担当	保健体育総務、オリンピック・パラリンピック関連事業、スポーツ推進審議会、各種団体事務、各種スポーツ大会運営補助、補助金関係、指定管理業務委託 他	3
社会体育指導員(会計年度任用職員)	各種スポーツ教室・健康づくり教室の企画運営及び講師としての活動、関係課との連絡調整 他	(1)
公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団派遣	市の芸術文化・スポーツ振興を図るためのイベント開催 等 教育委員会生涯学習課付職員派遣(正職員2人、再任用職員2人)	2 (2)
計	正規9人(再任用職員2人、会計年度任用職員6人)	9 (8)

2 担当課実施事業 事務事業 38事業

生涯学習課は、第二次笛吹市総合計画に基づく「未来を担う青少年を育む環境づくり」「人生を彩る生涯学習の推進」「スポーツ活動の推進」「地域文化の普及と活用への取組の推進」を目指して事業を実施しています。生涯学習担当とスポーツ推進担当の2担当からなり、生涯学習担当は、青少年育成事業、市民講座事業など14の事務事業、スポーツ推進担当は、スポーツ振興、スポーツ団体育成のための事業など24の事務事業、合計38の事務事業を実施し、生涯学習、スポーツの推進に取り組んでいます。

主要事業概要(点検・評価対象事業 8事業)

(1) 文化振興事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 5,906 千円 (支出済額) 5,906 千円 (執行率) 100.0%

(財源内訳) 教育費雑入 3,400 千円、一般 2,506 千円、

【事業目的】

市民の文化活動への取り組みを推進するとともに、市民が質の高い芸術などに触れる機会を提供し、市民の芸術、文化に対する意識を高める。

【実施内容】

市文化協会(113部、会員1,612人)の活動を支援しており、令和3年度はコロナ禍のため各地区文化祭が中止になったものの、自主的な活動を行っている。また、演奏会や講演会等の開催により様々な芸術、文化にふれる機会を提供し、市民の文化活動への取り組みを推進した。

【評価】

各地区文化祭は、市民の文化イベントとして定着しているが、コロナ禍で文化祭は全て中止した。

【歳入】

①教育費雑入 3,400 千円 (コミュニティ助成事業助成金)

【歳出】

①需用費 61 千円 (消耗品費)

②負担金、補助及び交付金 5,845 千円 (市文化協会補助金 2,445 千円、コミュニティ助成事業交付金 3,400 千円)

【課題】

地域の文化活動を担う文化協会会員の高齢化と新規加入者の減少により、文化協会活動の停滞が懸念される。

(2) 俳句の里づくり推進事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 2,905 千円 (支出済額) 2,709 千円 (執行率) 93.2%

(財源内訳) 一般 2,709 千円

【事業目的】

飯田蛇笏・龍太先生を生んだ俳句の里として、小中学生への俳句の普及を通して本市のPRを図る。

【実施内容】

全国の小学生、中学生を対象に第25回「俳句の里」山梨県笛吹市全国小学生・中学生俳句会を開催。また、市内の小学校において、俳句出前授業を実施。

- ・小学生・中学生俳句会は、全国45都道府県より563校計36,175句の応募があった。
- ・市内小学校への俳句出前授業 16回
- ・俳句会入選作品1,851句掲載の作品集を3,000冊作成し配布。

【評価】

各市区町村教育委員会や過去の応募校へ俳句会の募集案内を送付するとともに、表彰

式の折には、飯田蛇笏・龍太先生ゆかりの山廬の見学を行った。俳句会は応募数が 36,000 句を超える規模の大きな俳句会となっており、「俳句の里笛吹市」をPRにつながっている。

【歳出】

- ①報償費 723 千円（出前授業講師謝礼、選者謝礼、受賞者記念品）
- ②需用費 419 千円（消耗品費、食糧費、印刷製本費）
- ③役務費 210 千円（郵送料、切手代、筆耕料）
- ④委託料 1,357 千円（作品集作成）

【課題】

俳句関係者が高齢化しており、俳句出前授業の講師や俳句会の選者の確保が難しい状況になっている。

(3) 市民講座事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）8,195 千円（支出済額）7,078 千円（執行率）86.4%

（財源内訳）一般 7,078 千円

【事業目的】

各種の市民講座の開催により、市民の生涯学習を推進する。

【実施内容】

市民が自主的に学習するためのきっかけづくりや、学習機会となる「スコレー大学」などの様々な講座を開設。また、地区の公民館が主催するスコニティ講座の開催を支援している。

各種講座の開催状況

- ・スコレー大学 2 講座 受講者数 72 人
- ・市民講座 53 講座 受講者数延べ 747 人（コロナ禍により 7 講座中止）
- ・スコニティ講座 2 地区 受講者数延べ 28 人

【評価】

通年で学ぶスコレー大学や短期開催の市民講座、地区公民館主催のスコニティ講座を設定し、多様な学習機会を提供することで市民の生涯学習の推進が図っているが、コロナ禍により後期の市民講座（7 講座）が中止になった。

【歳出】

- ①報酬 4,872 千円（コーディネーター3 人分）
- ②職員手当 866 千円（コーディネーター3 人分）
- ③報償費 1,047 千円（講師謝礼）
- ④旅費 98 千円（コーディネーター通勤手当 3 人分）
- ⑤需用費 195 千円（消耗品費）

【課題】

受講者が募集定員を上回り抽選となる講座がある一方、受講希望者が少ない講座が開

催中止となった。市民ニーズにあった講座の開催が求められる。

(4) 青少年育成事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 6,666 千円 (支出済額) 5,066 千円 (執行率) 76.0%

(財源内訳) 一般 5,066 千円

【事業目的】

市、各地区青少年育成推進協議会など関係機関との連携により、青少年の健全育成を図る。

【実施内容】

市及び地区青少年育成推進協議会において、体験イベントやスポーツ大会、子どもまつり等の事業を実施。また、保護者の団体等が行う、家庭教育に関する講演会や研修会等の開催を支援しているが、コロナ禍のため球技大会や子どもまつり等は中止となった。

【評価】

市青少年育成推進協議会主催のフッキー体験塾には 102 人が参加。各地区開催のスポーツ大会、子どもまつりは令和 2 年度に続き令和 3 年度も中止になったが、例年、多くの保護者や関係団体が関わり、子どもたちの健全育成への取り組みが図られている。

【歳出】

①報酬 3,302 千円 (コーディネーター2 人分)

②職員手当 535 千円 (コーディネーター2 人分)

③旅費 24 千円 (コーディネーター通勤手当 2 人分)

④需用費 151 千円 (消耗品費)

⑤負担金、補助及び交付金 1,054 千円 (県青少年育成カウンセラー会負担金、市青少年育成推進協議会補助金他)

【課題】

青少年を取巻く環境は、様々な社会的要因を背景に多様化、複雑化する中で、地域の育成会や子どもクラブ活動が縮小している。

(5) 放課後子ども教室事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 10,955 千円 (支出済額) 5,954 千円 (執行率) 54.3%

(財源内訳) 県費 3,513 千円 一般 2,441 千円

【事業目的】

放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保を図り、次世代を担う児童の健全育成を支援する。

【実施内容】

富士見小、石和西小を中心に、市内 13 小学校において、放課後子ども教室を開設(芦川小を除く)。

放課後子ども教室開催回数、延べ利用者数 (8,064 人)

富士見小 2,118 人 石和西小学校 2,541 人 石和南小 98 人 石和東小 182 人
石和北小 416 人 御坂西小 242 人 御坂東小 132 人 一宮西小 338 人
一宮南小 826 人 一宮北小 111 人 八代小 380 人 境川小 518 人 春日居小 162 人

【評価】

学習指導や体験活動を行うことで地域における教育活動を推進し、地域住民との交流や異学年との活動を通じて、児童の健全育成に資するものとなっている。

【歳入】

①放課後子ども教室推進事業補助金 3,513 千円

【歳出】

①委託料 5,954 千円（放課後子ども教室事業）

【課題】

補助金が縮小や廃止となる場合には、実施回数の縮小など事業内容の見直しが必要となる。

(6) スポーツ振興事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）506 千円（支出済額）239 千円（執行率）47.2%

（財源内訳）一般 239 千円

【事業目的】

市民がスポーツに親しむ機会を提供する。

【実施内容】

市民の健康維持、体力向上のための機会として、県スポーツレクレーション祭への参加を支援するとともに、市民ウォーク、スキー・スノーボード教室などを開催しているが、令和3年度はコロナ禍により各種イベントが中止になった。

【評価】

市民がスポーツ活動を通じて、健康維持や仲間づくりにつなげていく機会を提供している。

【歳出】

①報償費 179 千円（県スポレク祭参加者報奨金）

②需用費 0 千円（消耗品費、食糧費）

③負担金 60 千円（県スポレク祭参加負担金）

【課題】

軽スポーツの普及など、多くの市民が手軽にスポーツに親しむ機会の拡大に努めていく必要がある。

(7) 東京オリンピック関連事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）12,307 千円（支出済額）9,336 千円（執行率）75.9%

(財源内訳) その他 9,336 千円、一般 0 千円

【事業目的】

東京オリンピック・パラリンピックの機運醸成を図るとともに、レガシーを残す。

【実施内容】

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに出場する本市出身選手を盛り上げるため、庁舎や母校に懸垂幕を設置するとともに、壮行会や出場報告会の開催、聖火リレーの開催補助、記念植樹、笛吹高校における本市出身オリンピックアンによるウエイトトレーニング教室の開催等により機運の醸成を図った。また、レガシーを後世に残すため、オリンピック出場選手の衣装ブースを笛吹市スコレーセンターに設置した。

【評価】

コロナ禍の影響により、東京 2020 オリンピック・パラリンピックは 1 年延期となったが、オリンピック・パラリンピック PR 等により機運醸成を図ることができた。

【歳入】

①まちづくり基金 9,336 千円

【歳出】

- ①報償費 271 千円 (講師謝礼)
- ②需用費 1,633 千円 (懸垂幕、聖火リレー・壮行会・報告会等の消耗品費)
- ③役務費 4,224 千円 (広告料)
- ④委託料 2,027 千円 (壮行会・報告会運営委託、聖火リレー記念樹管理業務委託、オリンピック歴代出身者フォト展示業務委託他)
- ⑤使用料及び賃借料 495 千円 (写真データライセンス購入)
- ⑥備品購入費 686 千円 (聖火リレートーチ、衣装ケース)

【課題】

東京 2020 オリンピック・パラリンピックが 1 年延期になり、コロナ禍でも開催ができたものの、当初計画していた本市出身者の応援(パブリックビューイング)やメダル獲得時のパレード等の行事ができなかった。

(8) 社会体育団体支援事業 (スポーツ協会運営支援事業・スポーツ少年団支援事業)

【予算・決算額等】

(事業予算額) 11,579 千円 (支出済額) 10,792 千円 (執行率) 93.2%

(財源内訳) 一般 10,792 千円

【事業目的】

地域における体育の振興のため、青少年のスポーツの普及やスポーツ指導者の育成、各競技団体の競技力の向上を図る。

【実施内容】

コロナ禍により各種大会が中止になったが、市スポーツ協会(34 競技 159 団体 会員 4,100 人)及び市スポーツ少年団(49 団・団員 938 名・指導者 235 人)に対して補助金を交付し、活動の支援を行った。

【評価】

競技スポーツ人口の維持、競技力の向上が図られているとともに、スポーツ少年団活動は、青少年の心身の健全な育成に資するものとなっている。

【歳出】

- ①負担金補助及び交付金 10,792 千円(県スポーツ協会負担金、市スポーツ協会補助金、市スポーツ少年団補助金)

【課題】

スポーツ少年団と団員数の減少は、将来の地域スポーツ活動の活力低下につながるものが懸念される。

3 総括

第二次笛吹市社会教育計画に基づき、青少年の育成、生涯学習の推進、地域文化の普及と活用の推進を柱とする本市の社会教育の振興のための取り組みとして、14の事務事業を実施しました。

スポーツの推進では、笛吹市スポーツ推進計画(令和3年度～7年度)を策定し、3つの視点(「する」「みる」「ささえる」)により、軽スポーツから競技スポーツまで、市民がスポーツを楽しめる環境づくり、スポーツ人口の拡大を目指して、24の事務事業を実施しました。東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを残していくことも含め、市民のスポーツ意識が向上し、よりスポーツに親しむことができるよう取り組みを進めます。

また、本市の生涯学習やスポーツ推進の一翼を担う、(公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団の事業を支援しました。互いに十分な連携を保ちながら効果的な事業推進に努めるとともに、学校や地域、団体等とも協力して事業を実施していきます。

なお、令和元年度の第4四半期以降、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、各種イベント等の中止や施設の利用制限等を行い、市民の生涯学習活動、スポーツ活動に影響が出ていますが、感染防止対策を徹底し、事業の推進を図ります。

第4節 文化財課

1 組織、分掌事務及び職員

係・担当	分 掌 事 務	職員数(人)
課長	文化財課所管事務の統括	1
文化財担当	指定文化財保存管理、埋蔵文化財事務、同調査、文化財情報発信、文化財の保護・活用及び普及、文化財施設維持管理など	2 (3)
国分寺跡整備担当	史跡甲斐国分寺跡・同尼寺跡及びその他史跡の保存・管理・整備・活用・普及	2
春日居郷土館・小川正子記念館	入館者受付、日常管理。会計年度任用職員は週3日勤務×2人	(3)
八田家書院	入館者受付、日常管理。会計年度任用職員は週3日勤務×2人	(2)
青楓美術館	入館者受付、日常管理。会計年度任用職員は週3日勤務×2人	(2)
計	正規5人、再任用2人、会計年度任用職員8人 ()は再任用・会計年度任用職員	5 (10)

2 担当課実施事業 事務事業 11事業

文化財課は、「地域の文化を育み伝える環境づくり」を目指し、「市内の指定文化財の保護・保存・維持を図る」「市内の文化財を活用し、市民へ市の歴史・文化遺産の理解を促進する」「史跡の保存整備を進め、その活用を進める」「埋蔵文化財（遺跡）の確認調査を行うと共に、発掘調査資料の整理を行う」「市内の博物館や美術館を活用し、笛吹市の文化財や文化遺産を公開する」等を推進していくため、文化財担当・国分寺跡整備担当の2担当を置いています。文化財担当は、文化財保護、博物館・美術館の管理運営など9事務事業を実施、国分寺跡整備担当は、国指定史跡甲斐国分寺跡・国分尼寺跡の保存整備など2事務事業を実施、合計11事務事業を実施しました。

主要事業概要（点検・評価対象事業 8事業）

(1) 文化財保護事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）1,398千円 （支出済額）1,343千円（執行率）96.1%

（財源内訳）一般財源1,343千円

【事業目的】

指定文化財の維持管理及び修理に関する支援を行い、地域の文化資産を守り伝える。

【実施内容】

指定文化財の管理者に対する維持管理の謝礼、国・県指定文化財建造物の防災施設保守点検に対する補助、無形民俗文化財の保存活動に対する補助を行った。

【評価】

上記事業のほか、狐塚古墳の石積み補修や荒神堂のケヤキ枯れ枝伐採への補助金の交付を行うなど、指定文化財の維持管理の支援を行うことで地域に伝わる文化資産の保存伝承を図った。

【歳出】

①報償金 716 千円（指定文化財維持管理謝礼）

②需用費 46 千円（消耗品費）

③負担金、補助及び交付金 581 千円

（狐塚古墳石積み補修補助金 190 千円、荒神堂ケヤキ枯れ枝伐採補助金 122 千円、国・県指定文化財建造物防災施設保守点検補助金 69 千円、無形民俗文化財保存活動補助金 5 件 200 千円）

【課題】

台風等自然災害による文化財破損、天然記念物樹木の倒木や枝折れが増加傾向にある。建造物、天然記念物パトロールを強化し、早期の修繕箇所発見に努める必要がある。

(2) 文化財活用事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）437 千円 （支出済額）388 千円（執行率）88.8%

（財源内訳）一般財源 388 千円

【事業目的】

市民に地域の文化財や自然に触れる機会を提供し、郷土愛をはぐくむ。

【実施内容】

文化財散策会を開催するとともに、市民が気軽に文化財を学べるように文化財説明板の設置・修繕を行った。春日居郷土館にて、日本遺産構成要素の土偶展示を行った。

【評価】

文化財散策会等は年間3回計画したが、新型コロナの影響で2回の実施にとどまった。文化財説明板は4基を改修した。

【歳出】

①需用費（修繕料） 358 千円（称願寺文化財説明板4基の修繕）

②負担金 30 千円

甲信縄文文化発信・活性化協議会負担金

【課題】

説明板の整備など、「実物を見に来る」ことを前提とした活用事業が中心であるため、来ることができない状況が発生すると対応力が弱い。タブレット端末やスマートフォンを想定し、紙のパンフレットの電子化を図る必要がある。

(3) 埋蔵文化財発掘調査事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）3,240 千円 （支出済額）1,508 千円（執行率）46.5%

(財源内訳) 国庫補助金 432 千円、県費補助金 216 千円、一般財源 860 千円

【事業目的】

埋蔵文化財包蔵地内で実施される各種開発の事前調整として試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財の適切な保存を図る。

【実施内容】

国・県の補助金を受けて各種開発の試掘調査を実施した。

【評価】

開発などに伴う試掘・確認調査 6 件、個人住宅に伴う本調査 0 件、計 6 件の調査を実施した。

【歳入】

①国庫補助金(国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金) 432 千円

②県費補助金(山梨県文化財保存事業費補助金) 216 千円

【歳出】

①報酬(会計年度任用職員報酬) 854 千円 ②共済費(労災保険料) 2 千円

③旅費(会計年度任用職員通勤手当) 15 千円 ④需用費(消耗品費 153 千円、印刷製本費 254 千円) ⑤役務費(仮設トイレ汲み取り手数料) 6 千円

⑥使用料及び賃借料 224 千円(発掘用重機賃借料 3 件 164 千円、仮設トイレ賃借料 2 件 60 千円)

【課題】

発掘調査作業員の確保が難しくなっている。

(4) 史跡甲斐国分寺跡整備事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 105,074 千円 (支出済額) 102,918 千円 (執行率) 97.9%

(財源内訳) 国庫補助金 80,931 千円、県費補助金 3,676 千円、公共施設整備等基金繰入金 9,673 千円、一般財源 8,638 千円

【事業目的】

国指定史跡甲斐国分寺跡・国分尼寺跡の保存整備を行う。

【実施内容】

史跡の公有地化(甲斐国分尼寺跡の公有地化)、史跡の環境維持管理等。

甲斐国分寺跡中門及び回廊位置確認のための試掘調査の実施。

【評価】

史跡甲斐国分寺跡・国分尼寺跡の公有地化が予定どおり完了した。

中門から塔跡外側を通り金堂に向かう回廊礎石を確認した。

【歳入】

① 史 甲斐国分尼寺跡 史跡等買上げ(直接買上げ)事業(国庫:79,514 千円)

② 史跡 甲斐国分尼寺跡 史跡等買上げ(直接買上げ)事業(県費:2,968 千円)

③ 国宝重要文化財保存・活用事業費補助金(国庫:1,417 千円)

④ 山梨県文化財保存事業費補助金 (県費：708 千円)

⑤ 公共施設整備等基金繰入金 9,673 千円

【歳出】

① 報酬 (会計年度任用職員) 1,168 千円 ② 共済費 4 千円 ③ 報償費 86 千円

④ 旅費 (会計年度任用職員通勤手当) 52 千円 (普通旅費) 1 千円

⑤ 需用費 (消耗品費 184 千円) ⑥ 役務費 (手数料) 11 千円

⑦ 委託料 5,560 千円 ⑧ 使用料及び賃借料 103 千円

⑨ 公有財産購入費 12,538 千円 ⑩ 備品購入費 119 千円、⑪ 負担金、補助及び交付金 50 千円 ⑫ 補償、補填及び賠償金 83,042 千円

【課題】

塔跡の基礎部分の構造や中門の規模など不明確な部分がある。これらを解明するための発掘調査を行い整備に向けたデータを収集する必要がある。保存活用計画を策定し、整備方針を示す必要がある。

(5) 文化財保存整備事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 5,016 千円 (支出済額) 4,260 千円 (執行率) 84.9%

(財源内訳) 一般財源 4,260 千円

【事業目的】

寺本廃寺跡、岡・銚子塚古墳、竜塚古墳などの市内の史跡の管理・保存整備を行う。

【実施内容】

史跡の除草管理等環境整備、古墳等史跡内の高木の伐採を実施した。

【評価】

竜塚古墳、寺本廃寺跡、亀甲塚古墳、平林 2 号古墳等の環境を維持管理するための除草作業等が年間を通じて順調にできた。小山城跡などで倒木の恐れのある高木を伐採したことで、近隣住民の不安解消と史跡の損傷防止ができた。

【歳出】

① 報償費 529 千円 ② 需用費 (消耗品費 94 千円 燃料費 42 千円 修繕料 48 千円)

③ 役務費 33 千円 ④ 委託料 3,514 千円

【課題】

地蔵塚古墳や団栗塚古墳、小山城跡など史跡上の高木に、倒木や枝落下の恐れのあるものがあるため、定期的な巡視を強化し、枝打ちや伐採を行う必要がある。

(6) 笛吹市博物館管理運営事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 6,559 千円 (支出済額) 5,958 千円 (執行率) 90.8%

(財源内訳) その他財源 740 千円 一般財源 5,218 千円

【事業目的】

市の歴史資料・民俗資料を収集保管し、郷土学習の機会を提供する。

【実施内容】

春日居郷土館では「わが町の八月十五日展」、「笛吹市所蔵美術品展」、「ハンセン病に関する講演会」などを開催した。八代郷土館では、敷地内の視認性確保と地震による倒壊予防のため、北側土塀をネットフェンスに改修する工事を行った。

【評価】

八月十五日展期間中、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月9日から9月12日まで観覧を休止した。

入館者数：春日居郷土館 1,636人

【歳入】

- ①文化施設使用料（春日居郷土館使用料）138千円
- ②教育費雑入（社会教育図書頒布代）34千円
- ③公共施設等整備基金（八代郷土館ネットフェンス改修工事）568千円

【歳出】

- ①報酬（博物館運営協議会委員報酬）77千円
- ②報酬（会計年度任用職員報酬・春日居郷土館管理人）1,869千円
- ③職員手当（会計年度任用職員期末手当）316千円
- ④報償費（八代郷土館維持管理謝礼、講師謝礼）203千円
- ⑤旅費（会計年度任用職員通勤手当24千円 普通旅費1千円）
- ⑥需用費（消耗品費178千円、燃料費1千円、光熱水費106千円
修繕料112千円、飼料費27千円）
- ⑦役務費（通信運搬費181千円） ⑧委託料 2,118千円
- ⑨使用料及び賃借料 177千円（春日居郷土館複写機賃借料）
- ⑩工事請負費 568千円（八代郷土館ネットフェンス改修工事）

【課題】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため八代郷土館での子供向け企画を中止した。今後も感染拡大が続き、学校との連携が難しいことが予想されるため、八代郷土館において、大人をターゲットにした集客企画を検討する必要がある。

(7) 八田御朱印公園管理事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）8,709千円 （支出済額）8,146千円（執行率）93.5%

（財源内訳）その他財源170千円 一般財源7,976千円

【事業目的】

八田御朱印公園及び八田家書院を維持管理し、市民に憩いの場と文化財建造物に触れる機会を提供する。

【実施内容】

八田御朱印公園は、維持管理を指定管理者に委託した。県指定文化財八田家書院の管

理運営を行った。

【評価】

八田家書院は8月9日から9月12日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため観覧を休止した。「雛飾り」等のイベントも中止した。管理人の発案により庭園内の「ムクロジの実」をお守りとして観覧者にプレゼントしたところ好評であった。

八田御朱印公園利用者数：5,051人 八田家書院観覧者数：1,038人。

【歳入】

①文化施設使用料（八田家書院観覧料） 170千円

【歳出】

①報酬（会計年度任用職員報酬・八田家書院管理人）2,004千円

②職員手当等（会計年度任用職員期末手当） 398千円

③旅費（会計年度任用職員通勤手当）101千円

⑤需用費（消耗品26千円、光熱水費355千円、修繕料40千円）

⑥役務費（通信運搬費） 47千円

⑦委託料（指定管理委託料4,033千円、委託料その他1,142千円）

【課題】

八田御朱印公園の支障木を伐採したため、公園に光が入り明るくなったが、雑草の生育が早く、除草頻度が増加した。八田家書院の屋根茅を営巣期のカラスが抜いていく。対策を講じる必要がある。

(8) 青楓美術館管理運営事業

【予算・決算額等】

（事業予算額）4,373千円 （支出済額）4,305千円（執行率）98.4%

（財源内訳）その他財源100千円、一般財源4,205千円

【事業目的】

津田青楓の作品を保管・展示し、市民が芸術に親しむ機会を創出する。

【実施内容】

常設展については、上半期は「漱石との出会い、良寛へのあこがれ」、下半期は「富士と日本の風景」をテーマに展示を行った。また、階段スペースで行っている絵手紙展を再開した。

【評価】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月9日から9月13日まで観覧を休止した。エントランススペースを活用したぶどう畑のアートギャラリーも中止している。例年アートギャラリーで実施していた一宮北小学校児童による「模写展」は、展示室内で対象になった作品と同時に見てもらおうよう工夫をした。

新宿区立漱石山房記念館で「漱石山房の津田青楓」展が開催され、青楓美術館からも作品を提供した。令和4年度には渋谷区立松濤美術館での展示が予定されるなど津田青楓作品への注目が高まっている。笛吹市でも、令和4年度に春日居郷土館と青楓美術館

の 2 館での津田青楓展を計画している。

入館者数：520 人

【歳入】

- ①文化施設使用料（青楓美術館入館料） 44 千円
- ②教育費雑入（社会教育図書等頒布代） 55 千円
- ③基金運用利子 1 千円

【歳出】

- ①報酬（青楓美術館運営協議会委員報酬） 17 千円
- ②報酬（会計年度任用職員報酬・青楓美術館管理人） 1,999 千円
- ③職員手当（会計年度任用職員期末手当） 398 千円
- ④需用費（消耗品費 97 千円、光熱水費 671 千円、修繕料 45 千円）
- ⑤役務費（通信運搬費） 55 千円
- ⑧委託料 742 千円 ⑨使用料及び賃借料 281 千円

【課題】

開館から間もなく 50 年を経過し、老朽化、耐震性、消防法の既存不適格など建物に課題が見られる。個別施設計画（文化施設編）に基づき、令和 7 年度を目途に春日居郷土館との機能統合を進めていく必要がある。

3 総括

市内の指定文化財の保存に取り組み、発掘調査や文献調査の成果などを公開しています。また、春日居郷土館や青楓美術館の展示、出前講座や歴史散策会により歴史や文化を学ぶ機会を提供することで、「地域の文化を育み伝える環境づくり」を行っています。

甲斐国分寺跡・国分尼寺跡については、保存活用計画の策定に取り組みます。

新型コロナウイルス対策による施設の閉館やイベント中止により、施設の入館者数やイベント参加者数が例年比で大きく減少しました。感染対策の徹底に取り組むとともに来館者数の回復、集客企画の充実に取り組みます。

第5節 図書館

1 組織、分掌事務及び職員

係・担当	分掌事務	職員数(人)
館長	図書館所管事務の統括	1
石和図書館	貸し出し業務・レファレンス・相互貸借・図書選書と受入他	4 (9)
御坂図書館	貸し出し業務・レファレンス・相互貸借・図書選書と受入他	1 (8)
一宮図書館	貸し出し業務・レファレンス・相互貸借・図書選書と受入他	1 (8)
八代図書館	貸し出し業務・レファレンス・相互貸借・図書選書と受入他	(1)
境川図書室	貸し出し業務・レファレンス・相互貸借・図書選書と受入他	(1)
春日居ふるさと図書館	貸し出し業務・レファレンス・相互貸借・図書選書と受入他	(5)
計	正規7人、会計年度任用職員 週5日17人、週1日15人 ()は再任用・会計年度任用職員	7 (32)

2 担当課実施事業 事務事業 7事業

図書館は、いつでも、どこでも、誰でも学べる環境を目指しています。市内6カ所の図書館(室)を運営し相互連携を図る中で、蔵書の充実や市内相互貸借による利用者へのサービス向上に努め、7事務事業を実施しました。

主要事業概要(点検・評価対象事業 1事業)

(1) 図書館管理運営事業

【予算・決算額等】

(事業予算額) 72,323千円 (支出済額) 67,357千円 (執行率) 93.1%

(財源内訳) その他36千円、一般67,321千円

【事業目的】

市民が利用しやすい環境に整備し、誰でも学べる生涯学習施設として市内図書館を管理運営する。

【実施内容】

市内図書館6館で図書館の利用環境の向上を図るとともに、おはなし会等による子育て支援や課題解決の手伝い、図書資料の貸出などにより読書の推進を行う。

【評価】

地域の情報拠点として、市民に役立つ図書館サービスを行い、コロナ禍の中で最大限に子どもから大人まで幅広く図書に触れる機会を増やすことができるように努めた。蔵書点検や館内整備により利用しやすいスペースを確保して利用促進に努めた。

新型コロナウイルス感染症対策として、開館時間の短縮など利用の制限を行ったため資料の貸出数は減少している。

図書資料数 481,141点・図書資料貸出数 304,852点

【歳入】

- ① 視聴覚ホール使用料 1 千円
- ② コピー機使用料 11 千円
- ③ 図書館カード再交付代 24 千円

【歳出】

- ① 報酬 36,046 千円（図書館協議会委員報酬 42 千円、会計年度任用職員報酬 36,004 千円）
- ② 職員手当等 5,962 千円（会計年度任用職員手当）
- ③ 旅費 663 千円（会計年度任用職員通勤手当）
- ④ 需用費 5,001 千円（消耗品費）
- ⑤ 役務費 336 千円（通信運搬費）
- ⑥ 委託料 4,894 千円（図書館システム保守委託料等）
- ⑦ 使用料及び賃借料 1,059 千円（コピー機使用料）
- ⑧ 備品購入費 13,335 千円（図書資料、視聴覚資料）
- ⑨ 負担金、補助及び交付金 61 千円（全国、県図書館協会）

【課題】

図書館は、「読書バリアフリー法」への取組みとして利用環境の整備が推進されている。市内図書館で所蔵する点字図書や大活字本等のリスト化を行い、利用希望者への迅速な対応が行えるよう整備する必要がある。また、県立、市外図書館との連携を図り、利用者の利便性の向上を図る必要もある。

3 総括

市民の学びの場である図書館として、図書館の利用環境の充実に努めるとともに資料の充実や子育て支援、課題解決の手伝いを行い、地域住民の学習・交流の拠点として、誰もが気軽に利用できる環境づくりを推進してきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づいた感染拡大防止対策を徹底し、安全な図書館サービスの提供をしていきます。

事務事業一覽表

(令和3年度)

令和3年度事務事業一覧表

○は第二次笛吹市総合計画実施計画に掲載。(重点)は重点事業

No.	担当課	事務事業名	R3決算額(千円)	備考
1	教育総務課	教育委員運営事業	1,080	
2	教育総務課	教育団体補助金交付事業	1,010	
3	教育総務課	職員人件費(教育総務課)	58,480	
4	教育総務課	教育長人件費	11,259	
5	教育総務課	教育総務事業	44,933	
6	教育総務課	教育交流事業	0	○
7	教育総務課	公用自動車管理事業	812	
8	教育総務課	施設等利用費給付事業	12,177	
9	教育総務課	補足給付費補助事業	334	
10	教育総務課	学校プール民間活用モデル事業	4,385	○(重点)
11	教育総務課	施設整備維持管理事務	28,169	
12	教育総務課	学校トイレ洋式化検討事業	2,750	○(重点)
13	教育総務課	小学校施設設備維持管理事業	30,413	
14	教育総務課	小学校施設計画の改修事業	69,203	○
15	教育総務課	中学校施設設備維持管理事業	12,425	
16	教育総務課	中学校施設計画の改修事業	12,216	
17	教育総務課	浅川中学校校舎等改修事業	687,939	○(重点)
18	教育総務課	社会教育施設整備事業	9,979	
19	教育総務課	社会教育施設計画の改修事業	3,223	○
20	教育総務課	体育施設整備事業	9,914	
21	教育総務課	体育施設計画の改修事業	14,639	○
22	教育総務課	学校給食調理施設整備事業	6,344	
1	学校教育課	職員人件費(学校教育課)	78,332	
2	学校教育課	小中学校学校教育事業	97,184	
3	学校教育課	教育相談事業	8,709	○
4	学校教育課	特別支援教育就学支援事業	120	
5	学校教育課	小中学校ICT環境維持整備事業	89,193	○
6	学校教育課	外国語指導助手設置事業	44,556	○
7	学校教育課	スクールバス運営事業	45,865	
8	学校教育課	ことばと発達のサポートルーム設置事業	531	
9	学校教育課	学校感染症対策・学習保証等支援事業	26,018	

No.	担当課	事務事業名	R3決算額(千円)	備考
10	学校教育課	職員人件費(小学校)	8,638	
11	学校教育課	小学校学校教育事業	134,531	○
12	学校教育課	小学校校医等配置事業	10,976	
13	学校教育課	就学時健康診断事業	1,279	
14	学校教育課	小学校要保護及準要保護児童援助事業	26,214	○
15	学校教育課	小学校特別支援教育就学奨励事業	2,045	
16	学校教育課	学力向上支援スタッフ配置事業	1,000	
17	学校教育課	小学校維持管理事業	82,884	
18	学校教育課	小学校教育振興事業	74,523	
19	学校教育課	職員人件費(中学校)	8,398	
20	学校教育課	中学校学校教育事業	43,705	○
21	学校教育課	中学校校医等配置事業	4,216	
22	学校教育課	中学校要保護及準要保護生徒援助事業	23,586	○
23	学校教育課	中学校特別支援教育就学奨励事業	1,120	
24	学校教育課	部活動指導員任用事業	1,333	
25	学校教育課	中学校維持管理事業	38,610	
26	学校教育課	中学校教育振興事業	49,735	
27	学校教育課	職員人件費(学校給食)	54,626	
28	学校教育課	学校給食総務事業	207,199	
29	学校教育課	給食調理業務委託事業	131,162	
30	学校教育課	学校給食費公会計化事業	9,036	
31	学校教育課	小中学校給食運営事業	9,451	○
32	学校教育課	共同調理場事業	90,936	○
1	生涯学習課	職員人件費(生涯学習課)	59,849	
2	生涯学習課	社会教育事業	16,255	
3	生涯学習課	文化振興事業	5,906	○
4	生涯学習課	俳句の里づくり推進事業	2,709	○
5	生涯学習課	公民館管理事業	1,906	
6	生涯学習課	市民講座事業	7,078	○
7	生涯学習課	青少年育成事業	5,066	○
8	生涯学習課	成人式事業	1,932	
9	生涯学習課	放課後こども教室事業	5,954	○

No.	担当課	事務事業名	R3決算額(千円)	備考
10	生涯学習課	スコレーセンター・パリオ指定管理業務委託事業	34,743	
11	生涯学習課	いちのみや桃の里ふれあい文化館指定管理業務委託事業	35,055	
12	生涯学習課	八代総合会館等指定管理事業	20,772	
13	生涯学習課	境川総合会館指定管理事業	9,231	
14	生涯学習課	芦川グリーンロッジ・やすらぎの里指定管理事業	6,039	
15	生涯学習課	保健体育総務事業	4,572	
16	生涯学習課	スポーツ傷害見舞金制度事業	599	
17	生涯学習課	ヴァンフォーレ甲府支援事業	18	
18	生涯学習課	スポーツ振興事業	239	○
19	生涯学習課	東京オリンピック関連事業	9,336	○
20	生涯学習課	体育協会運営支援事業	8,190	○ ※22と一括掲載
21	生涯学習課	スポーツ少年団支援事業	2,602	○ ※21と一括掲載
22	生涯学習課	スポーツ推進委員設置事業	2,863	
23	生涯学習課	社会体育指導員設置事業	2,488	
24	生涯学習課	桃の里マラソン大会事業	3,600	
25	生涯学習課	全国ゲートボール大会事業	239	
26	生涯学習課	国際・県外大会出場補助事業	2,126	
27	生涯学習課	石和中央テニスコート等指定管理事業	27,320	
28	生涯学習課	花鳥の里スポーツ広場等指定管理事業	18,084	
29	生涯学習課	御坂成田弓道場指定管理事業	150	
30	生涯学習課	いちのみや桃の里スポーツ公園等指定管理事業	20,672	
31	生涯学習課	若彦路ふれあいスポーツ館等指定管理事業	13,162	
32	生涯学習課	境川スポーツセンター指定管理事業	8,542	
33	生涯学習課	境川弓道場指定管理事業	125	
34	生涯学習課	芦川スポーツ広場指定管理事業	848	
35	生涯学習課	春日居スポーツ広場等指定管理事業	4,820	
36	生涯学習課	春日居弓道場指定管理事業	100	
37	生涯学習課	石和地区学校体育施設管理運営事業	979	
38	生涯学習課	石和地区スポーツ振興事業	27	
1	文化財課	職員人件費(文化財課)	39,494	
2	文化財課	文化財保護総務事務	2,574	
3	文化財課	文化財保護事業	1,343	○

No.	担当課	事務事業名	R3決算額(千円)	備考
4	文化財課	文化財活用事業	388	○
5	文化財課	埋蔵文化財発掘調査事業	1,508	○
6	文化財課	史跡甲斐国分寺跡整備事業	102,918	○
7	文化財課	文化財保存整備事業	4,260	○
8	文化財課	釈迦堂遺跡博物館組合負担金事務	10,000	
9	文化財課	笛吹市博物館管理運営事業	5,958	○
10	文化財課	八田御朱印公園管理事業	8,146	○
11	文化財課	青楓美術館管理運営費	4,305	○
1	図書館	図書館総務事業	47,545	○ ※1~6一括掲載
2	図書館	石和図書館管理運営事業	7,430	○ ※1~6一括掲載
3	図書館	御坂図書館管理運営事業	4,247	○ ※1~6一括掲載
4	図書館	一宮図書館管理運営事業	4,305	○ ※1~6一括掲載
5	図書館	八代図書館管理運営事業	1,414	○ ※1~6一括掲載
6	図書館	春日居図書館管理運営事業	2,418	○ ※1~6一括掲載
7	図書館	職員人件費(図書館)	56,901	